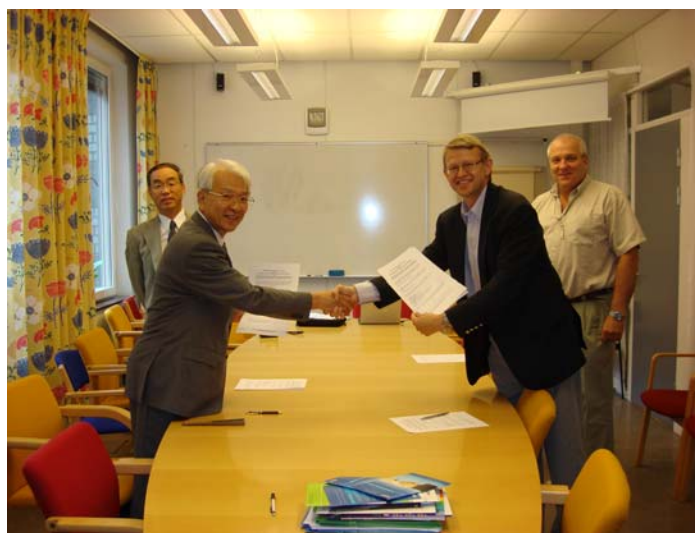


スウェーデン王立工科大学 School for Information and Communication Technology (KTH-ICT)と学術交流協定締結

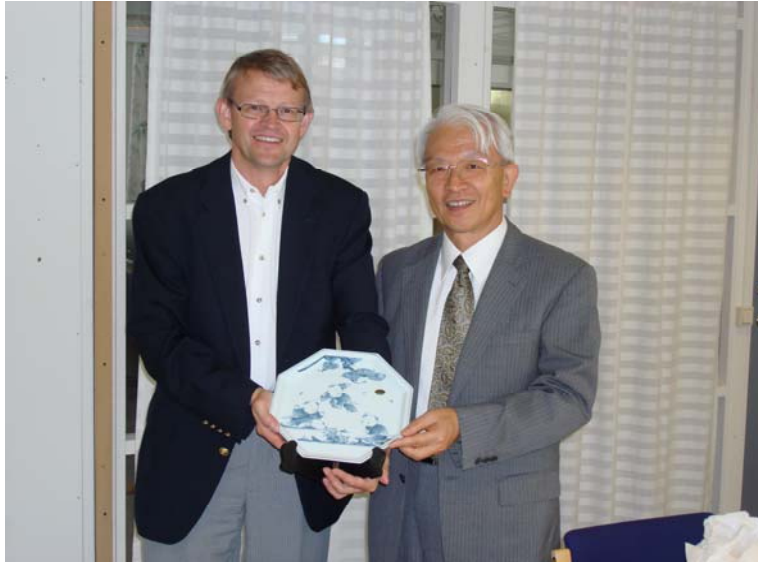
佐世保高専は 8 月 15 日に [スウェーデン王立工科大学 School for Information and Communication Technology](#) (以下 KTH-ICT と略す)との間で学術交流協定を締結した。

佐世保高専井上雅弘校長と須田義昭副校長(教務主事)の 2 名が KTH-ICT (スウェーデン・ストックホルム-Kista) を訪問し、井上校長、須田副校長、Mikael Östling 学院長と Alex Grishin 教授が協定書に署名を行い、学術交流協定が締結された。これにより同高専が海外の大学等研究機関と締結している学術交流協定は 4 件となり、今回の協定は佐世保高専にとってヨーロッパの大学と締結した初めての学術交流協定である。

スウェーデン王立工科大学は、スウェーデン国内 6 工科大学のうち、創立が一番早く 1827 年である。学部学生数は約 1 万 3000 人で、大学院生は約 1600 人で、教職員数は約 3000 人である。学部は建築など 5 学部あり、自然科学、都市計画など幅広く研究分野を網羅している。また EU 内の研究プログラムでも重要な役割を果たしている。1917 年以降、キャンパスをストックホルム市の中心に構え、今日、大学の建物は国の重要文化財指定を受けている。スウェーデン国内の工学研究の 3 分の 1 が行われており、スウェーデン最大の工科大学である。今回学術交流協定を締結した KTH-ICT はキャンパスが Kista にあり、ナノエレクトロニクス、フォトリソグラフィ、エレクトロニクス、コンピュータシステム、ソフトウェアテクノロジーやコミュニケーション等の分野の研究を行っている。



協定書を交換し握手する井上雅弘校長と Mikael Östling 学院長



記念品贈呈

[スウェーデン王立工科大学のホームページはこちらです。](#)